

総括

[目的] 地域に根差した産業を核とした産業の集積（クラスター）を推進
 （一次産業から三次産業までの多様な仕事を創出 + 地域の経済波及効果）

[成果]

- (1) これまでのプロジェクトの取り組みを通じて、クラスターの核となる一次産業では一定の基盤整備が整い、生産拡大や雇用の創出が図られてきた。
- (2) 二次、三次産業の展開が進み、新たな加工品の開発や飲食店でのメニュー化等が進み、観光振興につながったプロジェクトも生まれている。

[課題]

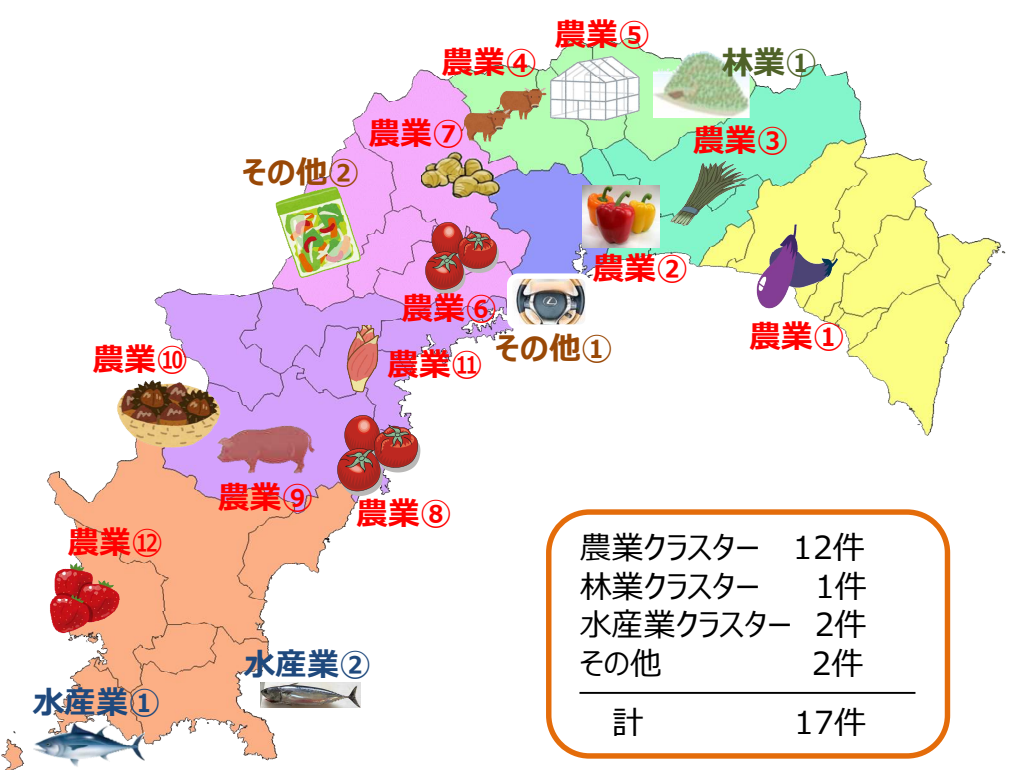
- (1) 二次、三次産業については、一次産業からの展開が十分ではなく大きな拡がりにつながっていないプロジェクトがあるなど、各地域の資源を生かした六次産業化の取り組みにとどまっているものが多い。
- (2) 制度開始から約8年が経過し、プロジェクトを取り巻く環境の変化により、加工用青果の調達難や原魚不足等、当初想定との乖離も発生してきている。このため、今後の取り組みの推進に当たっては、それぞれのプロジェクトの進捗や課題、取り組み内容に応じた支援方法の見直しが必要。

今後の方向性

- (1) 「地域産業クラスタープロジェクト」としての位置づけは見直し、引き続き一次産業から三次産業までの多様な仕事の創出に取り組むものについては、地域アクションプランの下で一体的に推進する。
- (2) プロジェクトの取り組みが軌道に乗っているものについては、自立を検討する。
- (3) 一次産業から二次・三次産業への展開が見込めないなど、クラスターの形成が困難なものについては、取り組み内容の見直しを行う。

地域産業クラスタープロジェクトの展開

分野	地域	クラスタープロジェクト（CP）名	主な指標と評価		
			一次	二次	三次
農業	安芸	①日本一のナス産地拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 A	—
	物部川	②南国市農業CP（ニラ、シシトウ、ピーマン類、還元野菜）	生産量 B	新商品数 D	—
		③日本一のニラ産地拡大CP	販売額 B	—	イベント日数 S
	嶺北	④嶺北畜産CP（土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏）	あかうし販売額 S	—	さめうら荘利用者 D
		⑤本山町施設園芸生産拡大CP（パプリカ）	出荷量 A	—	交流人口拡大 S
	仁淀川	⑥日高村トマト産地拡大CP	販売額 B	商品開発件数 B	オムライス販売数 B
		⑦いの町生姜生産・販売拡大CP	出荷量 S	加工品開発数 S	—
	高幡	⑧四万十次世代ハウス団地におけるトマト等栽培の経営強化CP	販売額 C	加工品売上額 —	—
		⑨四万十のうまい豚CP	出荷頭数 C	加工品売上額 S	—
		⑩四万十のうまい栗・芋CP	JA栗集荷量 B	加工品売上額 S	—
		⑪くろしおミウガ生産拡大CP	出荷量 A	—	メニュー定番化 S
	幡多	⑫宿毛市イチゴ・柑橘成長CP	イチゴ販売額 A	—	加工品等開発 S
林業	嶺北	①嶺北林業CP	素材生産量 B	加工品売上額 D	研修宿泊者数 D
水産業	幡多	①宿毛・大月養殖ビジネス高度化CP	マダイ生産 S	加工品出荷額 B	観光入込客数 D
		②土佐清水メジカ産業CP	漁獲量 D	宗田節出荷数 C	観光入込客数 B
その他	高知市	①竹資源活用CP	売上額 —	加工品売上額 D	—
	仁淀川	②仁淀川町における(株)フードプランを核としたカット野菜事業CP	農業従事者数 A	端材活用量 A	入込客数 —



※「評価」は、代表的な数値目標に対する達成見込み。評価基準は地域アクションプラン（資料2-3）と同じ。

【農業】 嶺北畜産クラスタープロジェクト

嶺北地域の特産物である土佐あかうし、大川黒牛、土佐はちきん地鶏のさらなる生産拡大とともに6次産業化による付加価値を高め、増産しながら販路拡大を進める。併せて、雇用の場の創出と観光資源の磨き上げを図る。

地域:嶺北地域全域

実施主体:【土佐あかうし】土佐町、本山町、大豊町、高知県、(一社)土佐れいほく観光協議会
【土佐はちきん地鶏・大川黒牛】大川村、高知県

取り組みの内容

- ・飼養管理技術の向上と安定的な出荷体制の確立に向けた家畜保健衛生所による定期巡回指導
- ・土佐はちきん地鶏事業の経営分析及び販売量に見合った生産規模の適正化
- ・嶺北の畜産物を味わえる機会や消費者向けのPRイベントの実施
(宿泊施設や飲食店等とタイアップしたクーポンキャンペーン、土佐あかうし街道スタンプラリー等)

主な成果

- ・土佐あかうしの販売額(年間) R元: 2.9億円 → R4: 4.0億円
- ・大川黒牛の販売額(年間) R元: 5,484.7万円 → R4: 7,825.2万円
- ・土佐はちきん地鶏の出荷羽数(年間) R元: 7.6万羽 → R4: 5.4万羽
- ・公共関連施設での宿泊者数(年間) R元: 23,691人 → R4: 27,897人



今後の方向性

- ・飼養管理技術の向上、安定的な出荷体制の確立に向けた定期巡回指導等の実施
- ・食と観光を連動させる取り組みの継続及び嶺北の畜産物を味わえる機会や消費者向けPRイベントを新たに実施
- ・県、大川村及び関係機関が連携し、土佐はちきん地鶏の生産管理及び事業全体のマネジメントの強化

【農業】 本山町施設園芸生産拡大クラスタープロジェクト

次世代園芸ハウスの整備等による農産物の生産拡大や担い手の確保を行うとともに、交流人口の拡大に向けた取り組み等との連携により、クラスターの形成を図る。

地域:本山町

実施主体:本山町、JA高知県、JA高知県れいほく園芸部、エフビットファームこうち(株)、(一財)本山町農業公社

取り組みの内容

- ・次世代園芸ハウスにおけるパプリカの栽培開始及び本山さくら市でのパプリカの販売開始
- ・施設野菜農家、エフビットファームこうち(株)に対する栽培管理及び病害虫防除指導
- ・産地提案書を活用した担い手確保

主な成果

- ・施設野菜の出荷量(年間) R元: 96t → R4: 169t
- ・新規就農者数(累計) R元: 1人 → R2~R4: 5人



今後の方向性

- ・施設野菜生産者の生産安定、拡大
- ・次世代園芸ハウスにおけるパプリカの安定生産
- ・パプリカの加工品開発、飲食店や観光施設との連携
- ・本山町農業公社による優良苗の供給



【林業】 嶺北林業クラスタープロジェクト

県内外の若者が山に関する仕事に就くことができる環境を整備するため、嶺北地域の豊かな森林資源を活用し、安定的な木材生産・供給システムを構築する。

地域:嶺北地域全域

実施主体:大豊町、本山町、土佐町、大川村、高知県、嶺北広域原木安定供給協議会等

取り組みの内容

- ・森の工場の設定
- ・搬出間伐や皆伐による素材生産拡大
- ・皆伐事業地への再造林の推進
- ・次世代園芸ハウスと組み合わせた木質バイオマス発電施設の稼働による、未利用材(林地残材)の有効活用

主な成果

- ・素材生産量(年間) R元: 106,688m³ → R4: 124,943m³



今後の方向性

- ・皆伐事業の増加に対応する森林資源(事業地)の確保
- ・森林資源を循環させるための再造林の推進
- ・木工品の販路拡大、担い手の確保と林業技術の継承